

# その昔 自分を捨てて 国を守った人がいました

黒田家 家臣 栗山大膳

今もなお  
語り継がれる  
その忠節



三大お家騒動と呼ばれる加賀騒動、黒田騒動、伊達騒動。黒田騒動の立役者であり、森鷗外により『忠義の人物』として描かれた栗山大膳。

幕府の裁決により盛岡藩預かりの身となり、慶安5年3月2日（1652年4月10日）にこの盛岡の地で61年の生涯を終えました。

同時期に朝鮮修好条約事件で国書偽造の罪に問われ対馬藩から盛岡藩に預かりの身となった規伯玄方（方長老）とも親交があり、その見識が当地の文化振興に与えた影響は大きいものがありました。

実質流罪であった盛岡藩預かりでしたが、盛岡藩では150人扶持（ぶち）と5里四方往来自由という暮らしに不自由のない手厚い待遇が与えられ、その子孫や臣下は盛岡藩に定着したといわれています。

福岡では、現在も福岡藩を救った忠臣として語り継がれ、福岡から盛岡にお越しになった際にこのお墓を訪れる方も少なくありません。

